

ご挨拶

本校は、明治6年、三原で最初の尋常小学校「亦楽舎（えきらくしゃ）」として、元三原町奉行屋敷を校舎として開校され、この地で脈々と歴史を重ね、昨年度、創立150周年を迎えました。令和5年度は151年目のスタートの年となります。この1年が、482名の子供たちの笑顔あふれる年となるよう新たな歴史を刻んで参ります。

さて、学校は、全ての子供たちの可能性を引き出す場です。多様化・複雑化の時代を生きる子供たちが、現在も将来も、自分らしさを発揮しながらよりよく生きることができる、つまりウェル・ビーイング（Well-being）の実現をめざします。と同時に、その子供たちの学びを創る教職員のウェル・ビーイング（やりがい）、そして子供を取り巻く地域社会全体のウェル・ビーイング（地域の幸せ）へつながるよう、学校教育活動を進めて参ります。

また、県の指定事業「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」が最終年を迎えました。主体的に探究し、自己の未来を切り拓く資質・能力を育成する集大成の1年となります。これまでの2年間の研究をさらに発展させ、子供たちが自己肯定感や自己有用感を感じながら、着実に資質・能力の育成が図られるよう取り組みます。

引き続き、郷土三原を誇りに、本校の歴史と伝統を大切にしながら、全教職員「チーム三原小」として心を一つに取り組みで参ります。どうか、温かいご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

令和5年4月吉日

校長 平松 理恵